

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年1月21日(土) 1回目：13時～14時 定員6名程度

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各1回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目8人（内訳：当事者0名、家族6名、専門職1名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

久しぶりに寒さを感じるカフェの日でした。今日は長いお付き合いの介護家族の先輩達が数名集う会となり、13時からの1回目の会のみ開催としました。新年明けてのカフェでしたので「絵馬づくり」を企画していましたが…話に白熱しすぎて絵馬づくりの材料をそれぞれが持ち帰る形となりました。「在宅介護なのか？施設入所を選択するのか？」新しい仲間の相談に、悩んだ当時を振り返ってそれぞれの選択した思いを語って頂きました。ご本人の症状、家族の境遇も違う。だからこそ、何が正しいのか？不正解なのか？はなく、介護の形が違ってても良い。どのサービスを選択するかも選択するその瞬間の生活の状況によっても違う…たくさんの思いが交差して語られました。

5. 所感

「家で介護しない事に周りから文句を言われる」介護していない親類からの言葉に傷ついた…思った以上に選択した介護方法に、周りからの非難を浴びる事も良く相談があります。介護家族が倒れたら…本人への良いケアは提供されません。色んな選択肢があって良い!!とても内容の濃い、いい内容でした。お土産は アップルパイを用意しました (^_^)。



以上